

洗足徒然日記

こんにちは。洗足学園報道委員です。

この『洗足徒然日記』では、洗足学園での生徒たちの活動について私たちが不定期でお届けする予定です。

今回のテーマは「体育祭」です。今年度の体育祭は、晴天に恵まれ、春らしく爽やかな日に執り行われました。その洗足学園の体育祭が一体どのようなものなのか、お伝えしたいと思います。

生徒たちは、誕生日をもとに青組、赤組、黄組、白組に分けられており、この4組で勝敗を競います。学年ごとに出場する競技種目が決まっており、練習期間にはそれぞれ練習に打ち込む姿が見られます。先輩から競技の必勝法を教わったり同学年内で作戦を練ったり、体育祭は学年やクラスの垣根を越えて交流できる機会でもあると感じます。

また、生徒は応援団、体育祭実行委員、審判や生徒招集などの係に立候補することができ、生徒が主体となって体育祭全体を運営しています(先生方もビデオ撮影をしたりタイヤに乗って運ばれたり大忙しですが)。

競技の内容は徒競走、玉入れ、大玉送り、今年度からの新競技である高校2年生の「背渡り」、棒タイヤ引きや、先生と生徒の二人三脚など、外部からのお客様も見飽きることのないラインナップとなっていると思います。洗足学園の校歌をアレンジした曲に合わせて行う中学2年生の集団演技、応援合戦や高3運動部有志による集団演技も見ものです。

平成29年度の体育祭は、黄組の優勝という形で幕を閉じました。今年はしっかりと「優勝」を意識し、各組が一致団結して臨んだ体育祭でありました。しかし、「勝って驕らず負けて悔やまず」。前田先生(前校長)が仰っていた言葉です。結果について各々思うことがあると思いますが、体育祭を終えたらその言葉通りに健闘を称え合い、次にするべきことに向けて気持ちを新たにしましょう。

とにかく、生徒の皆さんお疲れ様でした。黄組の皆さん、優勝おめでとございます！